

第41回安中市行政改革審議会会議録（公開用）

（以下、敬称略）

- 【日 時】 令和7年1月22日（水）午前10時～午前11時
【場 所】 本庁舎202会議室
【出席委員】 6名（小竹、谷口、小坂、松田、武井、土取）
【欠席委員】 5名（木暮、萩原、富岡、小坂橋、田島）
【事務局】 3名（政策・デジタル推進課長、政策・デジタル推進係長、担当係員）

【配付資料】

会議次第

委員名簿

資料1 第4次行政改革大綱（案）

資料2 第4次行政改革大綱答申書（案）

【詳 細】

- 1 開会（政策・デジタル推進課長）
- 2 自己紹介
- 3 会長・副会長の選出
【会長に小竹委員、副会長に谷口委員を選出】
- 4 会長挨拶

5 協議事項

（1）第4次行政改革大綱策定の策定について

<説明>事務局

◆第4次行政改革大綱策定の経過について（資料1の18ページ参照）

- 本大綱の策定について、6月の市長からの諮問に基づき、7月以降、大綱の原案を作成。
- その後11月に第40回審議会を開催し、委員へ中間報告。
中間報告では、原案について協議するため11月に部会を開催し、大綱案を作成。
- 本日は大綱案について審議し、2月に市長へ答申、3月に大綱を策定予定。

◆第4次行政改革大綱の内容について

- 11月の中間報告時点からほとんど変更なし。

◆中間報告で再協議となった4点について

1. 「行政改革の目的と必要性」の文面中、「実践してみてください。」から「実践していきましょう。」のほうが適切ではとの意見あり。部会では異議がなく、表現を改めている。
(大綱案の1ページ参照)
2. 「行政改革の目的と必要性」全体について、コンパクトに短くするほうが読み手にとってよいのではとの意見があったが、「目的と必要性」の文章の中で強調したい部分を集約することは難しく、本文の一部分を強調することは、読み手の受け止め方をミスリードしてしまう可能性があるため原案どおりの文面となっている。(大綱案の1ページ参照)
3. 「住民エゴ」という表現が第3次に取り入れられた背景について言及があったため、そのことを踏まえて、第4次に取り入れるか否か、部会で再検討を行った。協議の結果、「住民エゴ」という表現はとがった表現に感じられ、行政側の住民意見を受け止める態度を考慮すると穏当ではない、また、「特定の個人の過剰要求」という表現でも趣旨は伝わるのではないかという結論となり、原案どおりの文面となっている。
(大綱案の6ページ参照)
4. 大綱全体の構成について、「第1章と第2章の内容の関係性が見えづらい構成になっていると感じられる」との意見をうけて、この第1章に則した形で大綱全体が構成されており、大綱の1つの形として原案どおりの構成でよいのではないか、案として出ていた方針の順を並び替える構成は逆にふさわしくないとされるという結論となり原案どおりの文面となっている。

<審議>◇=委員 ●=事務局 以下同じ

◇意見、質問などあるか。
◇きりがないと思う。安中は市町が合併していて文化が違うため意見がどんどん出てくる。大綱なので総合的にこれでいいのでは。
◇例えば、市町村合併して北九州市もまとまるのに20年かかったらしい。なじむのには時間がかかる。
◇表現で少し気になったところがある。1ページの最後の部分「身近な項目から実践していきましょう。」の「身近な項目から」という表現についてほかの言葉に言い換えることができるか。例えば「関連する項目から」や「実行可能な項目から」という表現に変更し、「迅速に」という言葉もつけ加えてはどうか。部署ごとに取り組むべき課題があると思うが、「身近な」という表現は柔らかく、何でもいように捉えてしまうように思える。「身近な」のままでも問題はないが、いかがか。
◇「身近な」という言葉は削らず、例えば「身近な項目から迅速に」といった表現でもよいのではないか。 なぜなら、第4次大綱の第1章の1は、大綱が職員に読んでもらえないことが大問題であるという点を踏まえ従来のものよりコンパクトに、また、呼びかけの表現を使うという工夫を凝らした画期的な変更を行っており、職員により身近な問題として扱ってもら

いたいという意図が込められていると感じる。この経緯を踏まえると「身近な」という言葉を使うこと自体はよいと思うが、確かにより早く実践すべきであり、また、担当部署の関連事項から実践することになるので、そのような意図の言葉を一、二言盛り込めばさらによくなると考える。
◇早め実践してほしいという少しプレッシャーをかける表現を追加するということではどうか。「迅速に」が硬く感じるようであれば、ほかの言葉でもよいが、ご意見等あるか。
◇民間の視点からしか言えないが、行政も、市民の声に対して「担当部署ではない」などと言って対応しないのではなく、今やるべきことを先送りにしないことが必要だと思う。ハードルを低くすればやらなくなってしまうし、スピードが求められる情勢であるので「迅速に」でよい。
◇行政改革を間断なく行っていくためには民間の目線は大事である。市民からの声があった際に行政は意味のある応答をしなければならない。 話を踏まえ「迅速に」という表現を追加し、「身近な項目から迅速に実践していきましょう」でよいか。⇒異議なし
◇10ページのPDCAサイクルの部分でPDCAサイクルへ訂正をお願いする。
●修正する。
◇年号表記で作成するか。西暦表記はしないのか。
●最近の計画では年号と西暦を並列して書くのが主流となってきたため対応する。
◇表紙のこうめちゃんに「読んでね」等の吹き出しを追加してはどうか。 少し手に取りやすくなるのでは。
●確認する。
◇本日の欠席委員からも意見等を聞く期間を設けるか。
●欠席委員に、1ページに「迅速に」の部分が増加になったことを会議結果として案内し、意見があれば何う期間を設けたいと考える。それをもって答申とさせていただきたい。
◇猶予はどれくらいか。
●市長への答申書伝達式は2月7日（金）を予定しているため、1月31日（金）までとしたい。

（２）答申について

<説明>事務局

- ◆「第4次安中市行政改革大綱の策定について」（答申案）…（資料2のとおり）

<審議>

◇補足説明として、「補足事項（１）」の内容は、これまでの行政改革大綱策定についての答申でも記してきたもので、以前より委員からは、答申を受けてきちんと実践されているのか、「絵に描いた餅」になっていないかという意見が出ている。答申の中に補足事項を書くことはあまりないかもしれないが、しっかりと記して市長に責任を果たしていただくという意図の表れである。

◇意見、質問などあるか。⇒なし

6 その他

- ・市長への答申書伝達式

日 時：令和7年2月7日（金）午後3時30分～午後4時30分

場 所：安中市役所203会議室（本庁舎2階）

- ・都合のよい委員には同席いただきたい。

7 閉会